

到津の森公園 整備概要

1 施設内容

動物展示ゾーン

■世界の動物ゾーン

- ・草原の世界（キリン、シマウマ、フラミンゴ、ライオンなど）
- ・林床の世界（トラ、セイロンゾウ、チンパンジー、ワオキツネザル、鳥類など）
- ・樹冠の世界（フクロテナガザル、アンゴラコロブス、鳥類など）

■郷土の動物ゾーン

- ・郷土の水辺（ニホンコウノトリ、マナヅル、カルガモなど）
- ・郷土の森林・里山ゾーン（森の音楽堂、里のいきもの館、ピオガーデン、タヌキ、ムササビ、など）

■ふれあい動物園ゾーン

- ・動物とのふれあいコーナー（ヤギ、アライグマ、ウサギなど）
- ・マダガスカル・ゾーン（ワオ、エリマキキツネザル）

園地ゾーン

- ・芝生広場
- ・遊具（観覧車、子供汽車、ミニモノレール、サイクルモノレールなど）

管理ゾーン

- ・北ゲート、南ゲート（管理棟）、駐車場

2 事業費

第1期整備（平成11年度～平成17年度） 8,693百万円

開園前整備（動物展示施設、駐車場、エントランス、管理棟、用地買収など）

8,422 百万円

（内訳）用地費 4,650百万円（7.1ha分。3.5haは無償譲渡。）

整備費 3,772百万円

里山ゾーン整備（里のいきもの館、タヌキ舎、小動物舎、動物病院など）

271 百万円

第2期整備（平成18年度～平成26年度） 1,452百万円

マダガスカルゾーン整備（マダガスカル動物展示施設、冒険・観覧車横遊具広場など）

事業費合計 10,145 百万円